

平成30年度

京都府の教育施策

～つながり、創る、京の知恵～

京都府教育委員会では、「京都府教育振興プラン」に基づき、歴史と伝統にはぐくまれたふるさと京都が持つ様々な力を活かし、学校や地域の実情に応じた「京都府ならではの教育」を進めています。

夢に応えられる府立高校づくり

- 独創的な科学研究ができる人材の育成や国際社会に貢献できるリーダーの育成、社会・経済構造の変化に対応できるスペシャリストの育成などを目的としたスーパーサイエンスネットワーク、グローバルネットワーク、スペシャリストネットワークを推進します。



- 地域創生・地域連携をはじめとする学校の特色に応じた先進的な取組を京都フロンティア校支援事業にて推進します。「地域創生推進校」では、地域創生や地域の活性化に寄与できる取組を実施します。
- ICTを活用した進学予備校等のコンテンツによる学習指導を実施します。
- 母校応援ふるさと寄附基金を活用し、学校独自の教育活動を充実します。

伝統文化の学習や体験

- 府内の小・中学校で地域の伝統文化や古典に関する体験活動などを実施します。
- 伝統文化への関心を高めるとともに、豊かな感性や人を思いやる心をはぐくむため、京都にゆかりの深い茶道や華道、古典などを通じた伝統文化の学習をすべての府立高校で実施します。
- 府立高校6校を「伝統文化推進校」に指定し、歴史的建造物修復現場の見学や地域文化のフィールドワークを実施します。



グローバル人材の育成

- 2～4か月の中期間の留学ができる府立高校「海外サテライト校」をアメリカ、オーストラリアに設置します。
- 友好提携都市である英国エディンバラ市をはじめとした世界各地への府立高校生の短期留学を支援します。
- 訪日した外国人に府立高校生が英語で観光ガイドをするなど、「おもてなし文化交流」に取り組みます。
- 新学習指導要領対応に向け、外国語教育を充実します。
 - ◆ 小学校に英語教育推進教員を配置
 - ◆ 中学2年生対象に外国語4技能テストを実施
 - ◆ 外国語4技能テストを受験する高校1年生への支援

子どものための京都式少人数教育

- 小学校で30人程度、中学校で35人以下の学級編制が可能な教員を配置し、市町（組合）教育委員会が子どもや学校の状況に応じて手法を選択する、京都式少人数教育を実施します。

効果の上がる学力対策

- 小学校4・5年生対象の個別補充学習により、学習のつまずきの早期解消を図ります。
- 中学校1年生対象の振り返り集中学習により、小学校段階の学習のつまずきの早期解消を図ります。
- 中学校2年生対象の学力アップ集中講座により、基礎・基本の徹底や発展学習に取り組みます。
- 基礎学力の定着を図るため、つまずき部分を明らかにし、さかのぼって復習ができる自動学習計画策定システムを構築します。



特別支援教育の充実

- 「京都府スーパーサポートセンター（SSC）」を拠点に、専門的な研修、研究、教育相談を行い、障害により教育上特別の支援を必要とする子どもたちへの、就学前から卒業後に至るまでの一貫した特別支援教育を総合的に推進します。
- 特別支援学校高等部への職業学科設置や、清掃、接客、パソコン実務、介護の業界や団体と連携した「京しごと技能検定」の普及により、生徒の就労意欲や企業就労率の向上を図ります。
- 府立清明高校を拠点校として、通級による指導を実施するなど、高校における特別支援教育の充実を図ります。



子どもの未来を守る

- スクールカウンセラーやまなび・生活アドバイザー（スクールソーシャルワーカー）など、心理や福祉の専門家を学校へ配置・派遣し、子どもや保護者の支援を行うなど相談体制の充実を図ります。
- 「いじめ未然防止・早期解消支援チーム」を設置し、学校のいじめ防止対策のチェックや、早期解消に向けた支援を行います。
- いじめや非行などの早期発見、早期解消のため、すべての児童生徒にアンケートと聞き取りによる調査を行います。

不登校支援

- 教室に入りにくい子どもに相談・学習支援を行う「心の居場所サポーター」を配置します。
- 京都府認定フリースクールの教育活動を支援するとともに、フリースクールなどで学ぶ不登校の子どもへの支援や、適応指導教室の設置・機能拡充への支援を行います。
- 学校に行きにくい状況にある子どもを対象に、自然の中での集団宿泊体験を通じて自立への力や登校する力を育てる取組を推進します。

大学との連携

- 数多くのノーベル賞受賞者を輩出し、豊かな研究基盤を持つ大学が集まっている京都の強みを生かし、大学からの出前授業や大学での体験授業、大学と連携した府立高校生の探究活動など、子どもたちの知的好奇心をはぐくむ取組を行うとともに、「京都数学グランプリ」や「京都科学グランプリ」を開催します。
- 教員を目指す大学生を対象とした学校インターンシップや大学が持つ最新の教育情報を活用した授業力向上のための教員研修を実施します。

社会全体の教育力の向上・地域の活性化～地域学校協働活動～

- 地域の方による様々な体験活動の機会提供（京のまなび教室）や学習支援（地域未来塾）など、地域のつながりや人的資源を活かして子どもをはぐくむ取組を支援します。
- 地域と学校が連携・協働する仕組みづくりを進め、地域全体で子どもの学びや成長を支えるとともに地域の活性化を図る取組を推進します。



京の子どもダイヤモンドプロジェクト

優れた資質のあるジュニア選手の発掘・育成を行い、将来わが国を代表するアスリートとして国際大会でのメダル獲得を目指すとともに、その経験を生かし確固たる考えと行動力を持ち、豊かで明るい社会の発展に貢献できる人材を育成します。

家庭の教育力を高める

- 小学生の子どもを持つ保護者を対象とした、子育て・親育ちに役立つ学習資料を作成し、子育てに関する学習活動を支援します。
- 保護者が悩みや不安を抱えて孤立しないよう、支援の仕組みづくりを進めます。



花見をする親子

暫定登録文化財
「紙本金地著色吉野山図」部分
最福寺（南丹市）

文化財を守り伝える

- 京都府内に多数存在する未指定文化財を早期に保護するため、府独自・全国初の「暫定登録文化財」制度により、緊急の保護対策を講じます。
- 文化財建造物の修理現場公開などを通じて、文化財保護の大切さを後世へ伝えます。
- 府立郷土資料館において、地域の歴史資料などの調査、収集、展示を行うほか、出前授業や体験活動を実施し、京都府の良さを伝える教育を推進します。

教職員の働き方改革

新しい時代に向けた子どもたちの教育を進めていくため、教員がはつらつ、颯爽とした様子で教壇に立ち、質の高い教育を実践できる環境を整えていきます。

具体的には、教職員の働き方改革実行計画に基づき、「残業を20%削減」などの目標を立て、学校運営・指導体制の充実、専門スタッフの配置促進、休養日の設定などの部活動運営の適正化、学校・家庭・地域の役割分担と連携・協働など、働き方改革を総合的に実行していきます。

京都府の教育の基本理念を実現するための重点目標と主な施策一覧

1 質の高い学力をはぐくむ

外国語4技能（読む・聞く・話す・書く）教育の充実

基礎基本の徹底や個別課題に対応した学力向上対策

大学や研究機関などを活用した知的好奇心や探究心をはぐくむ教育の推進

6 安心・安全で充実した教育の環境を整備する

まなび・生活アドバイザーやスクールカウンセラーの配置、派遣

小・中・高校生への個別補充学習

いじめ対策・不登校支援等の推進

交通安全や災害対策の推進

高校生への奨学給付金の支給や修学資金の貸与

2 人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性をはぐくむ

小・中学校で地域の伝統文化や古典に関する体験活動を実施

すべての府立高校で茶道や華道、古典などの伝統文化学習を推進

府立高校の文化部活動への支援

文化財の保護・継承や文化財専門家の出前授業

7 学校の教育力の向上を図る

子どものための京都式少人数教育

教職員の働き方改革の推進

教員の資質・能力の向上

教員志望の学生への支援

3 たくましく健やかな身体をはぐくむ

学校部活動支援のための外部人材の配置

薬物乱用防止対策の推進

食育推進のための支援や、和食や地域の食文化の理解の向上

8 すべての教育の出発点である家庭教育を支援する

子育て・親育ちに役立つ学習資料の作成

PTAと連携した研修会の開催

訪問型の家庭教育支援体制の構築

4 一人一人を大切に、個性や能力を最大限に伸ばす

生徒の夢に応えられる府立高校づくりの推進

特別支援教育のための体制充実

「京しごと技能検定」の実施など特別支援学校での職業教育等の充実

幼小接続の推進

京のアスリート育成・強化推進

9 地域社会の力を活かして子どもをはぐくむ環境をつくる

京のまなび教室や地域未来塾など地域と学校の連携・協働活動の推進

スクールガード・リーダーによる巡回指導やスクールガード・リーダーの養成

5 社会の変化に対応し、よりよい社会の構築に貢献できる力をはぐくむ

模擬選挙等の政治的教養を高める教育の充実

職業体験等のキャリア教育の推進

府立高校生のボランティア活動の支援

10 生涯学習社会の実現に向けて学習環境を充実させる

府民総合体育大会及び京都府版マスタース大会の開催

府立図書館による市町村立図書館等への支援のためのネットワークの強化やレファレンス等の充実

府立郷土資料館における文化財講座や、文化財公開事業の実施等